

業務継続計画の実効性確保に関する映像資料について（令和6年5月作成）

趣 旨

- 大規模災害時、優先的に実施すべき業務を的確に行えるよう、業務継続計画の策定等により業務継続性を確保しておくことが重要。
- 特に重要な6要素を網羅し、点検・訓練の仕組みを充実させるなど、より実効性のある業務継続計画とするには、全庁的な理解や協力が必要であることから、防災担当部局以外の職員も参画するためのポイントなど、地方公共団体の取組を推進するための映像資料を作成。

映像資料の内容

業務継続計画について、「地方公共団体の業務継続の手引き」の内容に基づいてポイントを解説。

被災した自治体職員等の経験・知見等から、業務継続計画の実効性を高めるための方策について理解を深める。

<構成>

1. イン트로ダクション
2. 災害対応は誰のもの？
3. 業務継続計画とは
 - ① 業務継続計画とは？
 - ② 重要6要素とは？
 - ③ 非常時優先業務とは？
4. 業務継続計画の実効性を高めるために(磐田市・仙台市等)
 - ① 重要6要素に特化した確保・管理の取組
 - ② 訓練に基づく実効性の確保
 - ③ 全庁的・継続的な体制の構築
 - ④ 被災地への応援経験に基づく実効性の確保
5. おわりに



活用方法・活用シーン

- わかりやすさに配慮した構成とし、職階を限定せず、また防災関係部局職員だけでなく、全自治体職員を対象として、幅広く災害対応研修時に活用可能。
- また、「重要6要素とは何か」「計画の実効性を高める事例」等、目的や時間にあわせてチャプター毎の分割視聴も可能。

活 用 例

- ・ 課内の防災研修（全部局）／防災担当部局職員の研修
- ・ 首長・幹部職員の意識啓発・防災研修
- ・ 業務継続計画改定準備段階における関係部局の意識啓発・協力体制構築

■ 映像資料掲載先（内閣府HP）：

https://www.bousai.go.jp/taisaku/chihogyoumuukeizoku/bcp_movie.html